



柴田 かつゆき

しばかつ通信 第019号(2026.1.14)



社会保障立国

－「安心」を土台に、日本を立て直す－

▶▶▶ 詳細は裏面へ



国政での活動

臨時国会では補正予算とガソリンの暫定税率廃止を含む16本の法案が可決されました。厚生労働委員会では生活保護に関する最高裁判決への対応と医療法について、法務委員会では「不法滞在者ゼロプラン」と更生保護制度について質問しました。「衆議院インターネット審議中継」の「ビデオライブラリ」で「発言者名：柴田勝之」と入力すればご覧になれます。

ボランティアに参加してみませんか？

柴田かつゆきの活動を支えるボランティアに参加してみませんか？

- ① SNS投稿のいいね・リプライによる拡散
- ② ポスター貼り・チラシ配り・軽作業
- ③ 街頭演説会への準備・参加

右のLINEまたはoffice.kshibata@gmail.comまでご連絡をお待ちしております！



地元での活動

年末にはたくさんの地域イベント・防災訓練・餅つき大会などにお伺いして、江戸川区の皆様との交流を深め、様々なお話を伺うことができました。江戸川水閘門(篠崎水門)の改築事業起工式では、この水門が地域の水害対策などに果たしてきた大きな役割について改めて認識しました。

12月6日に開催した国政報告会と懇親会は、定員を大きく上回る皆様にご来場いただき、力強い激励と切実なお声を頂戴いたしました。また、国会見学会では、映像では伝わりきらない臨場感を感じていただけたと思います。国会見学会は個人でも団体でも大歓迎ですので、ご希望の方はぜひ柴田かつゆき事務所までご連絡ください！

年明けには街頭活動に加え賀詞交歓会等にもお伺いしておりますので、お見かけの際にはぜひお声掛けください！本年も、江戸川区から日本をより良い社会にしていけるために、精一杯努めてまいります。

「チームしばかつ」メンバー大募集

柴田かつゆきへの応援をお待ちしております！
まずは公式LINEで「しばかつ」最新情報を受け取っていただくだけでもうれしいです！！後援会やボランティアへのご参加も募集しております。

公式LINE



X (Twitter)



「高市首相が衆議院の解散総選挙を検討」との報道があり、最短で1月27日公示・2月8日投開票という日程が取り沙汰されています。この機会に私の政治活動の原点である「社会保障立国」(しばかつ通信第1号もこのテーマでしたー右のQRコードからご覧になれます)について改めてお話しします。



【社会保障は「最強の経済政策」－衣食住・医療・介護・教育をすべての人に－】

「社会保障」と聞くと「弱い人を助ける話で自分には関係ない」「経済成長のためには社会保障の負担をなるべく減らすべきだ」と思われる方も多かもしれません。しかし私は、社会保障は単なる「負担」ではなく、私たちの暮らしの安心を支え、経済成長の土台になる「投資」と考えています。理由は大きく3つです。

① 将来への不安を減らし、みんなが安心してお金を使えるようになれば、消費が増える

病気・事故・倒産・リストラ・親の介護・子育て・・・誰の人生にも「もしも」があります。社会保障が不十分な国では「もしも」に備えて人はお金をためこみ、消費が伸びません。それを見た企業も投資を控え、生産力も伸びません。つまり「もしも」への不安が大きいほど経済は縮こまります。逆に、社会保障がしっかりしている国では人は安心してお金を使えるので消費が伸び、企業もそれに対応して生産力を伸ばすことにより経済が成長していきます。

② 介護・子育て・医療が整うと、働ける人が増える

介護サービスが足りないと、家族が仕事を減らしたり辞めたりせざるを得ません。保育が不足すれば、子育て世帯、特に女性の就労が妨げられます。医療が弱ければ、病気が重くなって働けない人が多くなります。逆に、介護・子育て・医療が整えば、働きたい人が働けるようになり、人手不足の改善・企業活動の活発化につながります。

③ リスクを冒して挑戦する人が増え、新しい産業が育つ

「失敗したら一家が路頭に迷う」社会では人は挑戦できません。反対に、いざという時にもセーフティーネットの支えがあると思えば、失敗を恐れずに起業したり転職したりする人も増え、新しい産業が発展していきます。

私は、これからの日本は「社会保障を削って何とかしのぐ」国ではなく、**社会保障を強くして土台から経済を立て直す国＝「社会保障立国」**を目指すべきだと考えています。社会保障立国とは「弱者を助ける」だけの国ではなく、安心の土台を強くして、**思う存分に人が働ける・学べる・挑戦できる、「やさしくて強い国」**を作ることです。

【「社会保障立国」のための3つの柱】

では「社会保障立国」のためには何をすべきか。私は次の3つが重要と考えます。

- ① **「入口を整える」**こと。支援が必要な人ほど制度にたどり着けない入口の「壁」を減らします。相談窓口を分かりやすくし、手続きを簡素にし、声を上げにくい人にも制度が届く仕組みを作ります。
- ② **「現場を守る」**こと。医療・介護・教育は、人がいなければ回りません。従事者の皆様の待遇を改善し、使命感や「気合い」に頼ることなく、現場が続く仕組みを作ることが必要です。
- ③ **「不安を減らす」**こと。病気や困窮などの困り事を本人や家族だけに背負わせず、いざとなれば社会保障による支援が受けられるという安心感を持てる制度を作ります。「生活保護バッシング」のような、支援をうける人が屈辱感を与えられることがないようにすることも必要です。

誰もが安心して子どもを産み育て、歳を重ねていける日本へ。「社会保障立国」を、一緒に作っていきましょう！

柴田かつゆき プロフィール

1968年10月生まれ。開成中高・東大法学部卒
「困っている人を、助けたい。」との想いから弁護士となり、今年で31年を迎える。司法研修所刑事弁護教官、第二東京弁護士会副会長などを務めた。刑事事件の弁護人などの経験から、国の制度を作る国会議員を志し、2024年10月の衆議院選挙で初当選。2025年9月より立憲民主党副幹事長。政治信条は「社会保障立国」「利権より人権」「トリクルアップ経済(「下から」の経済成長)」

編集後記～スタッフKのひとりごと

あけましておめでとうございます！振り返るとあっという間の1年でした。チームしばかつのみなさまに支えられて何とかやってこれたなと、しみじみ感じます。年末は、公式サイトのリニューアル・プロモーション動画製作・・・と追われましたが、無事にリリースできました！ぜひ、公式サイト・YouTubeをご覧ください。そして、これが手元に渡る頃には、入試が始まりますね！すべての受験生が悔いなく力を出しきれますように。(ちなみに、柴田さんの1番好きなお菓子は受験のお供に最適な「キットカット」だそうです。)



◀◀◀公式サイトはこちらから

〒134-0091

柴田かつゆき事務所

東京都江戸川区船堀1-4-10 第2乙女屋マンション 604

TEL 050-8886-1651 / MAIL office.kshibata@gmail.com